

子ども・子育て支援に関するニーズ調査にご協力ください (小学生用) (案)

皆様には、日頃より美幌町のまちづくりにご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

美幌町では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、平成27年度から5年間を一期とする「美幌町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育てをめぐる現状と課題に対して、社会全体による費用負担を行いながら「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」「保育の量的拡大・確保」「地域の子ども・子育て支援の充実」に向けた取り組みを推進、実施しております。

本調査は、2020年度を始期とする第二期の「美幌町子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を町が算出するため、町民皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し計画に反映することを目的に行うものです。

なお、回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いませんので、本調査にご協力賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

平成31年1月

美幌町長 土谷 耕治

調査票の記入にあたって

- この調査は、町内にお住まいの小学生のお子様がいらっしゃる世帯の中から、無作為で抽出し協力ををお願いするものです。調査結果は、上記の目的以外には使用いたしません。また、調査の回答はすべて統計的に処理し、皆様にご迷惑をお掛けすることはありますので、率直なご意見をお書きください。
- このアンケートは、平成31年1月1日現在の状況でお答えください。
- 記入された調査票は、1月25日(金)までに、同封の返信用封筒に入れてポストへ投函して下さい（切手は必要ありません）。
- 本ニーズ調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。
美幌町民生部児童支援グループ 業務担当
TEL 0152-73-1111 内線376・390（平日 8:45～17:30）

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区を「小学校区」でお答えください。(当てはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 美幌小

2. 東陽小

3. 旭小

封筒の宛名のお子さんとご家族の状況 についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください(□内に数字でご記入ください)。

小学校 年生

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の年齢もご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年 歳

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもいない ⇒問8へ

⇒問7-1へ

⇒問7-2へ

問7-1 問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
- 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 6. その他 ()

⇒問8へ

問7-2 問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
- 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 6. その他 ()

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. いる／ある ⇒ 問8-1へ
- 2. いない／ない ⇒ 問9へ

問8-1 問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 祖父母等の親族
- 2. 友人や知人
- 3. 近所の人
- 4. 子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）
- 5. 保健所・保健センター
- 6. 教師・養護教諭等学校職員
- 7. 民生委員・児童委員
- 8. かかりつけの医師
- 9. 自治体の子育て関連担当窓口（保健師など）
- 10. その他 【例】教育相談員、学童保育所指導員

問9 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまで就労したことがない
- ⇒(1)-1へ
- ⇒(2)へ

(1)-1 (1)で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、
1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない
場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。）

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

(1)-2 (1)で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻を
お答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08
時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一律に
一字。）

家を出る時刻 □ □ 時 ～ 帰宅時刻 □ □ 時

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまで就労したことがない
- ⇒(2)-1へ
- ⇒問12へ

(2) -1 (2) で「1. ~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) -2 (2) で「1. ~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

家を出る時刻 時 ~ 帰宅時刻 時

問11 問10の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問12 問10の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 母親

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 - 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
 - すぐにでも、もしくは1年内に就労したい
→希望する就労形態
 - フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 - パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
- 1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 - 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
 - すぐにでも、もしくは1年内に就労したい
→希望する就労形態
 - フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 - パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
- 1週当たり 日 1日当たり 時間

宛名のお子さんの放課後の過ごし方に ついてうかがいます。

問13 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ適当たりの日数を数字でご記入ください。また、「5. 学童保育所」は現在利用中または6年生までが対象となった場合に利用希望であれば選択し、適当たり平均の利用日数と何時まで利用したいかもお答えください。時間は必ず（例）17時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

放課後を過ごす場所（複数選択可）	日 数・時 間
1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事（スポーツ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童センター※	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 学童保育所※	☆現在利用中の方 → 週 <input type="checkbox"/> 日くらい→下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
	☆6年生まで対象となった場合利用したい方 → 週 <input type="checkbox"/> 日くらい→下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
6. 公民館、公園	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. その他（ ）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

（参考）

- ※4. 児童センター：およそ3歳から中学生が利用でき、様々な遊びを中心に児童の健全育成を図っています。コミュニティーセンター内にあります。
- ※5. 学童保育所：保護者が就労等により留守家庭等となる場合、登録された児童を対象に健全育成及び福祉の増進を図っています。各小学校内に設置されており、有料です。現在小学1年生から3年生を対象としていますが、6年生までの対象を検討しています。

問14 問13で「5. 学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それについて、当てはまる番号に○をつけてください。また利用したい時間帯を、（例）08時から17時など□内に24時間制で、さらに利用したい学年を□内にご記入ください（数字は一律に一字）。

（1）土曜日

- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 - 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 - 3. 利用する必要はない
- ⇒ 利用したい時間帯
 時から 時まで必要
 ※ 年生までは利用したい。

（2）日曜・祝日

- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 - 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 - 3. 利用する必要はない
- ⇒ 利用したい時間帯
 時から 時まで必要
 ※ 年生までは利用したい。

問15 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号に○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～17時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 - 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 - 3. 利用する必要はない
- ⇒ 利用したい時間帯
 時から 時まで
 ※ 年生までは利用したい。

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問16 宛名のお子さんについて、この1年間に病気やケガのため小学校を休まなければならなかつたことはありますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. あつた ⇒ 問16-1へ 2. なかつた ⇒ 問17へ

問16-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかつた場合に、この1年間に行つた対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）。

1年間の対処方法	日数	
ア. 父親が休んだ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	問16-2へ
イ. 母親が休んだ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	
ウ. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	
オ. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	問16-5へ
カ. ベビーシッター等を利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	
ク. その他（ ）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	

問16-2 問16-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ⇒ 問16-3へ
 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問16-4へ

問16-3 問16-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 学校・幼稚園・保育所等に併設した施設
 2. 病院（小児科等医療機関）に併設した施設
 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：※ファミリー・サポート・センター等）
 4. その他（ ）

※ファミリー・サポート・センターとは、子育ての援助を受けたい人と援助を行いたい人が会員となって相互援助活動の連絡・調整により、地域の住民が子どもを預かる事業です。

⇒ 問17へ

問 16-4 問 16-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に見てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間
日数など）がよくない | 4. 利用料がかかる・高い |
| 5. 利用料がわからない | 6. 親が仕事を休んで対応する |
| 7. その他（
） | |

⇒問 17 へ

問 16-5 問 16-1 で「ウ」から「ク」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ク」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一括に一字）。

- | | |
|--|---------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日 | ⇒問 17 へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒問 16-6 へ | |

問 16-6 問 16-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他（
） |

宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かり等の 利用についてうかがいます。

問 17 この1年間に保護者の用事（冠婚葬祭、病気、不定期の就労等）で宛名のお子さんを家族以外に日帰り又は泊りだけで預けなければならぬことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

「1. あった」場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一括に一字）。

	1年間の対処方法	日帰り	泊りだけ
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊 ⇒問 17-1 へ
	イ. イ以外の保育事業（ベビーシッター等）を利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	ウ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊 ⇒問 18 へ
	エ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	オ. その他の ()	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
2. なかつた			

問 17-1 問 17 で「1. あった ア.(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|---------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかというと困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|---------------|-------------|

問18 宛名のお子さんについて、緊急時などでお子さんを泊りがけで預けられるサポート事業が町内にあった場合、利用すると思いますか。事業の利用には、正当な理由及び一定の利用料がかかることが前提です。当てはまる番号に○をつけてください。

さらに、「1」または「2」に○をつけた方は、現状から推測して年利用見込日数は何日程度になると思いますか。□内に数字を記載してください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ ※年利用見込日数 日程度

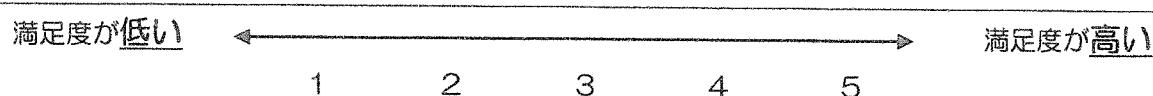
問 19 子育てについて、理屈としてどのようなお考えをお持ちでしょうか（いずれか1つに○）

1. 出産後すぐでも子どもを預けて仕事をした方が良い。
 2. 出産後1・2年は家庭で子育てをし、その後は預けて仕事をした方が良い。
 3. 子どもがある程度大きくなるまで家庭で子育てをし、その後仕事をした方が良い。
 4. 母（父）は、子育てや家事など家庭を中心に専念した方が良い。
 5. その他（

問20 上記について、実際はどうでしたか（いずれか1つに○）。

1. 理想どおり仕事をした。 2. 理想どおり家庭で子育てをしている。
3. 家庭で子育てをしたいが仕事をせざるを得なかった。 4. 仕事をしたいが見つからなかった。
5. 預ける所がなく仕事ができなかつた。 6. その他()

問21 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。



問22 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

※1月25日（金）までに同封の封筒に三つ折りし入れ、切手を貼らずにポストへ投函願います。（※現在学童保育所をご利用の方は、各学童保育所へ提出でも構いません。）

